



"デジタルハプティクスプラットフォーム" — デジタル×触覚で拓く体験と可能性の拡張 —

国立大学法人広島大学 大学院先進理工系科学研究科 栗田雄一研究室

プロジェクト概要

ユニバースとメタバースの価値を接続するための「デジタルハプティクス&エクスペリエンス基盤技術」の研究開発を通じて、触覚や運動覚を含めたハプティクス体験ができるプラットフォームを整備してデジタルデータと物理製品をつなげるスキームを創出し、インターバースを活用したプロダクト開発・ヘルスケア支援・体験伝送サービスの事業開発に挑みます。

展示物紹介

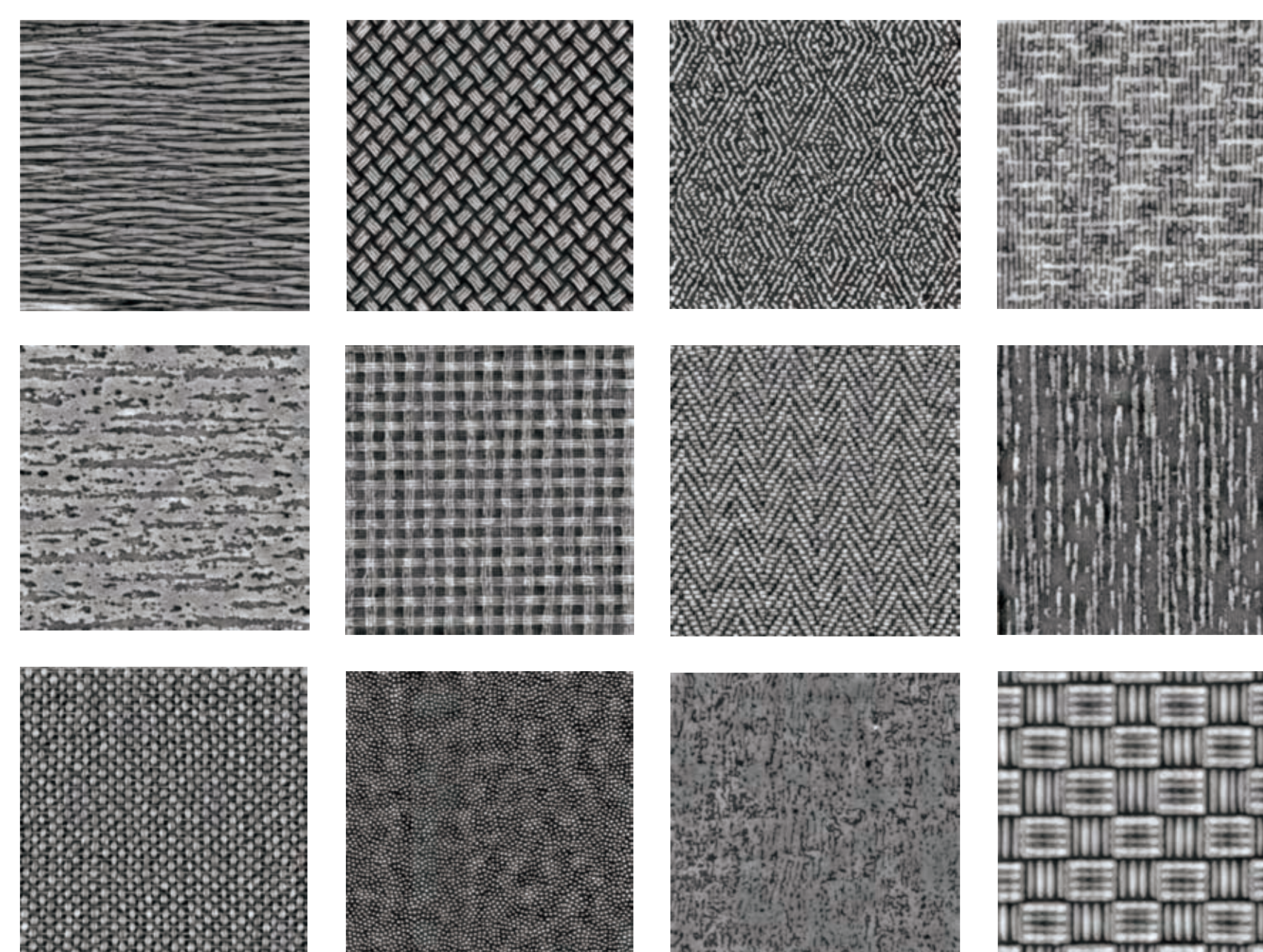
触感推定・触感生成システムデモ

表面テクスチャをハイトマップデータとして表現、そこから触感推定する手法を確立しました。この推定技術を応用し指定した触感のハイトマップを生成可能です。



触感サンプル

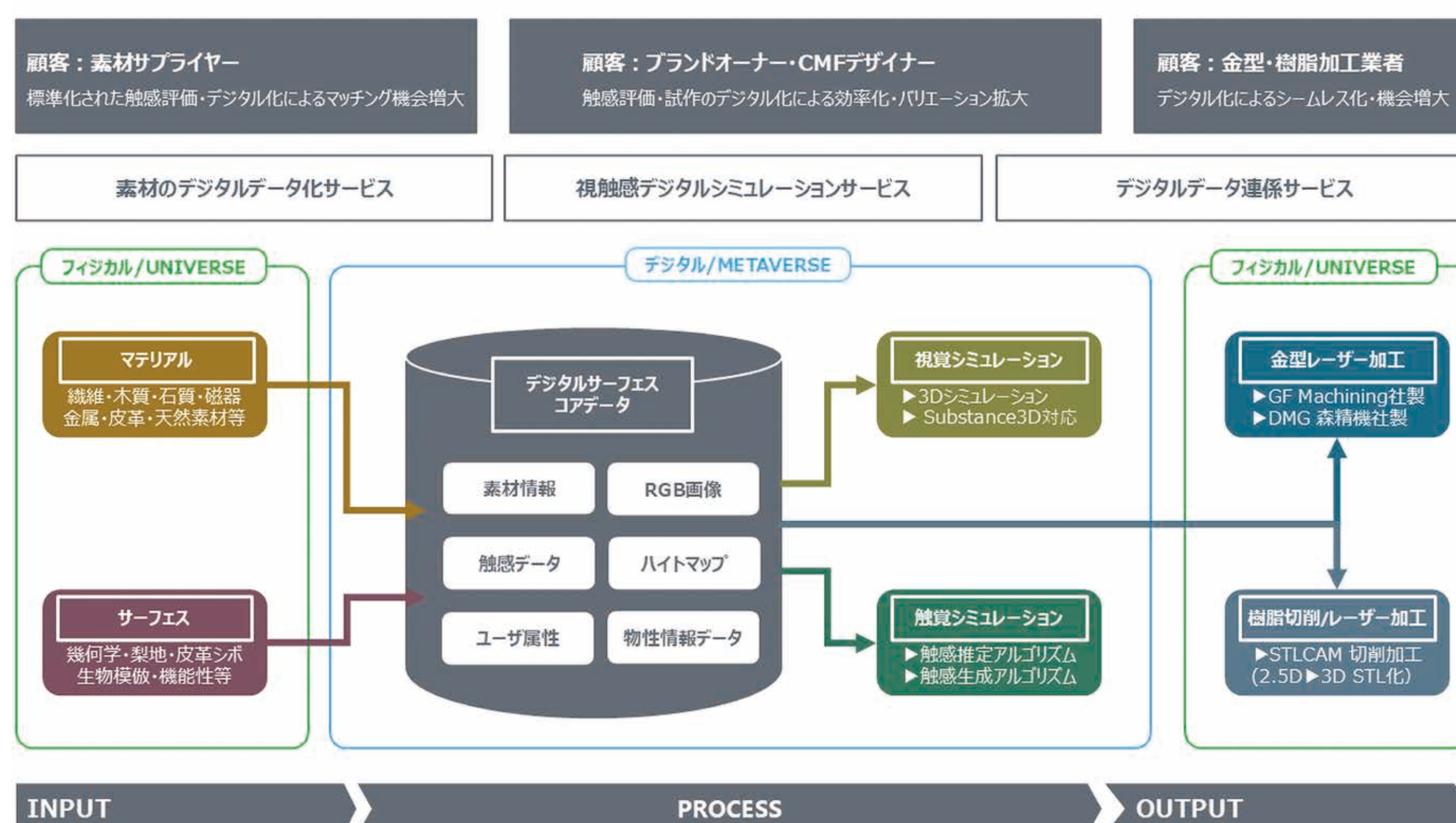
ハイトマップから実際に金型を起こし、樹脂加工した触感サンプルです。実際に触れて素材×表面加工の違いが生み出す触感の違いをぜひご体感ください。



触ってみて!
あなたは
どう感じますか?

社会実装イメージ

自動車・家電などの製品では、形状・機能に加え、表面品質（見た目・触感）の重要性が高まっています。研究では触感最適化で支払意欲が最大約2倍に。CMF/サーフェスに触感を結合した「デジタルハプティクスデザイン」を定義して事業化を推進し、顧客体験の質と市場競争力の向上に貢献します。サステナブルやウェルビーイングを軸に超スマート社会に資する価値を創出します。



プロジェクト実施期間

2018年度～2022年度

NEDOプロジェクト名

人工知能技術適用によるスマート社会の実現／人工知能技術の社会実装に関する日米共同研究開発／健康長寿を楽しむスマートソサエティ・主体性のあるスキルアップを促進するAIスマートコーチング技術の開発

お問い合わせ先

デジタルハプティクスコンソーシアム運営事務局
HP: <https://www.dx-haptics.com/>

